


元肥が稲に与える効果

市町村 砂川市

氏名 村田 大地



選定理由

元肥には様々な種類があるが使用する肥料によって稲の「生育・品質・収量」にどれほど違いがあるのか確かめる為



到達目標

今後の肥料設計を今回の調査の結果から、
「生育・品質・収量」共により良いものにする



実施計画の概要

研修先にて同じような面積のほ場を2ヶ所用意してもらい、
「前年度から使用している元肥」と「別の種類の元肥」を
それぞれのほ場に散布し、同じ管理の下生育調査を行い、
収穫時には「品質（タンパク）等」「収量」の違いを確かめる

調査項目

5反程のほ場を2ヶ所用意し、元肥散布時に

・一方のほ場には（慣行区）

「水稻用有機ペレット885」反当40kg散布し

・もう一方のほ場には（試験区）

「オーガニック8・5・3」を反当40kg散布する



両ほ場同じ生育管理を行い、生育調査を

「6月20日」「7月20日」「刈り取り前」に行う

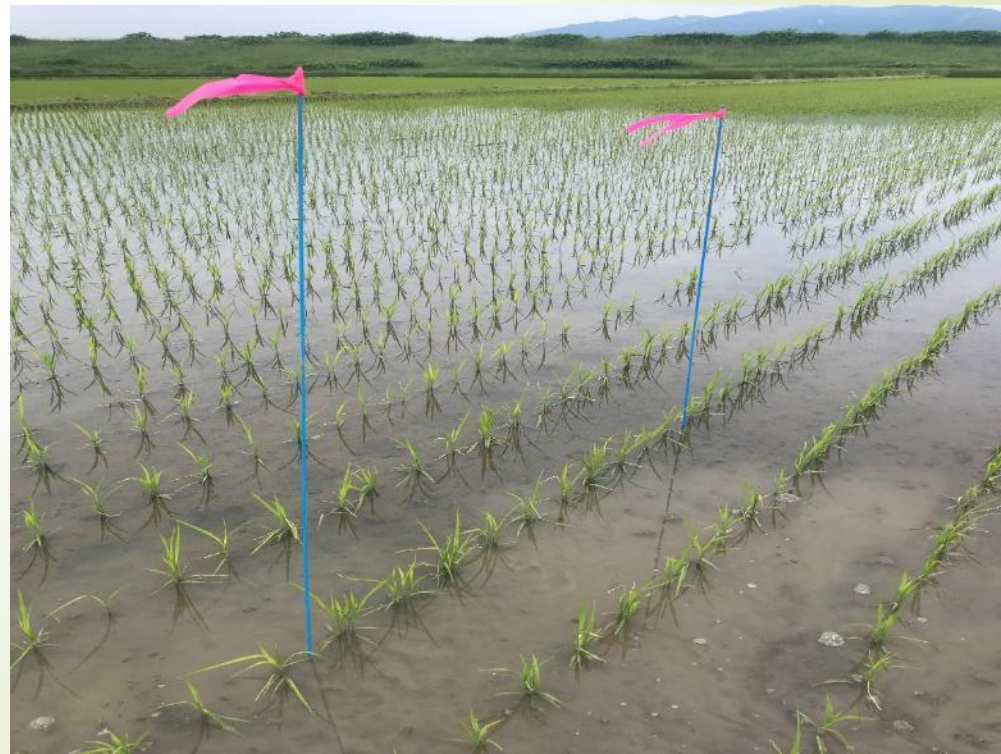
生育調査の内容は


ほ場で平均的な生育をしている10株を選定、毎回同じ株を

「草丈、莖数」刈り取り前には「稈長、穂長、穂数」を記録し

それに加え、「幼穂形成期、出穂期、収穫日」

をそれぞれ記録する





収量、品質については試験区と慣行区に分けて籾出荷し
JAからの成績書から「収量、タンパク値」等の品質を
確認し比較する。

調査ほ場概要

	品種	面積	元肥	移植日
試験区	ひめぴりか	50m ²	オーガニック853	6月3日
慣行区	ゆめぴりか	40m ²	有機入りペレット885	6月3日

結果

生育期

	幼穂形成期	出穂期	収穫日
オーガニック853 (試験区)	7月2日	7月26日	9月29日
有機入りペレット885 (慣行区)	7月4日	7月24日	9月29日

結果

生育調査

	オーガニック853 (試験区)		有機入りペレット885 (慣行区)	
	草丈 (cm)	莖数 (本)	草丈 (cm)	莖数 (本)
6月20日	29.2	17	32.3	21
7月20日	63.7	28.7	73.3	36.7
	稈長 (cm)	穂長 (cm)	稈長 (cm)	稈長 (cm)
9月18日	63.8	16.9	70.7	16.6
	穂数 (本)		穂数 (本)	
	24.3		30.3	

生育風景 9月18日

オーガニック853

水稲用有機ペレット885



試験区



慣行区

結果

	製 品	色選下	中 米	屑 米	総 数	外ハク値
	(Kg/10a)	(Kg/10a)	(Kg/10a)	(Kg/10a)	(Kg/10a)	
オーガニック 853 (試験区)	5 9 4 反当10俵	1 5	4 0	2 6	6 7 5 反当11俵	6 . 4
有機入りパレット 885 (慣行区)	4 7 2 反当8俵	1 1	4 1	3 6	5 6 0 反当9俵	6 . 8

まとめ

生育調査段階では「水稲用有機ペレット885（慣行区）」を使用した稲が、「オーガニック853（試験区）」を使用した稲を大きく上回る結果が出ていたが、最終的には「オーガニック853（試験区）」を使用した試験田の稲が品質、収量共に「水稲用有機ペレット885（慣行区）」を使用した比較田の稲を上回る結果となった。

考察

収穫し、成績書を見るまでは**収量**は

「水稲用有機ペレット885（慣行区）」の方が
多いと思っていたのでとても意外な結果となった

しかし、研修先の営農者は収穫をする前から**品質、収量**共に

「オーガニック853（試験区）」の方が良いと思うと
言っていたので長年の経験はすごいなと思いました。

今後に向けて

今回の結果で費用対効果を考慮しても「オーガニック853」を使用した方が良いということになったが試行回数が1回だけな為、**毎回今回の様な結果になるとは限らない**ので少しずつ使用するほ場を増やし、今後も生育調査、収量調査を続けて、より良い肥料設計を目指したい。